

2024年

秋号

出会い、つながり、広がる 笑顔

ボランティアコミュニケーション

今号のトピックス

おおた広がれ ボランティアのつどい 2024

未来へつなぐボランティアの輪
～ボランティアが元気な地域をつくる!～

日時 **12/15日**

13時30分～16時30分(13時開場)

場所 **新蒲田一丁目複合施設**

『カムカム新蒲田』

地下2階多目的室

(新蒲田1-18-16)

詳細はP2P3をご覧ください

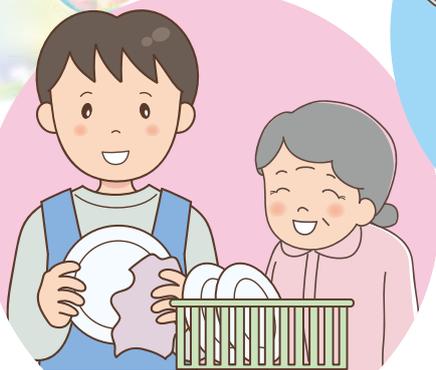


こども食堂



特技ボランティア

災害ボランティア



絆サポート



傾聴ボランティア

問合先 社会福祉法人 大田区社会福祉協議会

おおた地域共生ボランティアセンター

TEL.03-3736-5555 FAX.03-3736-5590

〒144-0051 大田区西蒲田7-49-2 大田区社会福祉センター5F

開所日時：(月)～(土) 8:30～17:15 《日曜日・祝日・年末年始を除く》

メール : voc@ota-shakyo.jp



おおた広がれボランティアのつどい2024

開催!

未来へつなぐボランティアの輪 ～ボランティアが元気な地域をつくる!～

主催：社会福祉法人 大田区社会福祉協議会 共催：大田区・大田区社会福祉法人協議会（おおた福祉ネット）

子ども、社会人、シニア世代などあらゆる世代が、自分の興味や関心があるものに参加できるボランティア。ボランティアをもっと身近に感じていただくためのフォーラムを開催します。今ボランティアをしている方、これからボランティアをしようと考えている方も、この機会にぜひ、お越しください!



開催日時 12月15日(日) **参加無料**
13時30分～16時30分(13時 開場)

[スケジュール] 13:00 開場
13:30 開会あいさつ
13:40 第1部 基調講演
14:45 第2部 ゲストスピーカーによるトークセッション
16:30 閉会

会場 新蒲田一丁目複合施設『カムカム新蒲田』
地下2階多目的室 (新蒲田1-18-16)

定員 300名

申込方法 Googleフォームから、またはFAXにて申込



申込締切 12/6 (金)



基調講演 「ボランティア活動が育む 共に生きる力」

はらだ まさき
原田 正樹 氏
日本福祉大学 学長
「広がれボランティアの輪」連絡会議 副会長

全国ボランティア・市民活動振興センター運営委員
福祉教育・ボランティア学習、地域福祉を専攻



ゲストスピーカー紹介

地域をにぎやかに 特技ボランティア

特技ボランティアは、仕事や趣味などで培われた特技を地域や施設等で披露したり、教えたりするボランティアです。今回は、施設で楽器演奏を披露している方々が登場します。



演奏あり!

地域でつながる こども食堂

大田区には59ヶ所(R6年10月1日時点)のこども食堂があります。地域の子どもたちをはじめ、地域の皆さんの居場所にもなっています。活動のきっかけややりがいについてお話しできます。



被災地の心強い味方 災害ボランティア

大規模な自然災害が発生した際、自発的に行う被災地への支援活動が、災害ボランティア活動です。被災地の復旧・復興には、今や災害ボランティアの支援が欠かせません。被災した地域や住民が、1日でも早く元の生活に戻ることができるようお手伝いすることを目的とし、力仕事から事務作業、心のケアまで様々な災害ボランティア活動があります。活動での貴重なお話を聞かせていただきます。



ご近所のささえあい 絆サポーター

高齢者や妊産婦のお宅で、日常の家事等のちょっとしたお手伝いを行うのが絆サポーターです。他人の足元照らすと、自分の足元も明るくなるように、活動に参加される方も、活動によって自分自身の心も体も元気になる、そんな活動を紹介します。



心のふれあい 傾聴ボランティア

日常生活の中で他者との交流することが少ない方や、話す機会を求めている方に対し、お話をじっくりと聴く活動です。話す側の話したいことを受け止め、表情にも気をつけながら会話を楽しむことで、話し手と聴き手の双方が心温まるひとときを共有することができるボランティア活動です。



地域福祉フォーラム ～70万人のしあわせな暮らし～

大田区社協では、地域共生社会の実現に向け、様々な異なる立場や所属の皆さまとの連携・協働による取組みが身近な地域に広がることを目指して、地域福祉コーディネーターの実践報告を含めた地域福祉フォーラムを開催します。



日時 令和7年 2月11日(火・祝) 13時～17時(12時30分～受付開始)

会場 新蒲田一丁目複合施設『カムカム新蒲田』 地下2階多目的室 (新蒲田1-18-16) **定員** 120名(事前申込制)

講演 「(仮)地域福祉の源流から地域共生社会へ」 **講師** 東京ボランティア・市民活動センター所長 山崎 美貴子氏

問合せ先 おおた地域共生ボランティアセンター 地域共生担当
電話：03-3736-2266 FAX：03-3736-5590 メール：kyousei@ota-shakyo.jp
※プログラムの内容や申込方法は、令和6年12月以降のおおた社協だよりやHP、X(旧:Twitter)をご覧ください。

誰もが自分らしく 心豊かに暮らせる地域をつくる

～地域福祉コーディネーターの参加支援～

地域福祉コーディネーター(地域福祉Co)は、誰もが社会の中で生きがいや楽しみを持って自分らしく暮らせるように、参加支援に取り組んでいます。

参加支援とは? … 様々な事情で途切れてしまった社会との接点を回復するため、または途絶えさせないために、本人の求めに応じて、既存の資源につないだり、新たな資源を開拓する支援です。 ※以下、地域福祉コーディネーター = 地域福祉Co

1 地域包括支援センターの窓口相談

一人きりで頼れる人がいないんです…

地域包括支援センター※

包括

一緒に考えましょう

Aさん (70代 一人暮らし)

地域福祉Coにも相談してみよう

POINT

日頃から地域包括支援センター等の関係機関と連携し、分野や世代を問わない相談を受け付け、早期の課題解決に取り組んでいます。

地域福祉Co

2 家庭訪問

絵を描くことが趣味です。

Aさん

地域福祉Co

人と話すことも好きだけど、高齢者の集まりに行くのは気が引けます…

社会的に孤立していると、身近に相談できる相手がおらず、生活や健康などの課題が深刻化していきます。私たちは、孤立している方と地域のつながりを回復するために、伴走的に関わり続けています。

3 居場所の立ち上げ会議・居場所の紹介

一方その頃…

誰でも気軽に来られる居場所を作りたいですね

民生委員さんたち※

私たちも手伝います!

地域福祉Co

新しい居場所に一緒に行きませんか?

う〜ん、地域福祉Coもいるなら行こうかな…

地域の人がつながる場である「居場所」の立ち上げのお手伝いも行っています。「誰でも」参加できる居場所にすることで、気軽に来られる人がいる。その少しの工夫が民生委員さんたちの思いやりです。

4 居場所の開催

来てみたら、意外と楽しかったです!

Aさん

地域福祉Co

次回は楽しみにしています♪

居場所は、安心できる仲間がいることが大切です。民生委員さんは、参加者に「また来たい」と思ってもらえる温かい雰囲気を作っています。私たちは、地域に住むすべての人に居場所があり、身近に相談できる人がいる、そんな地域づくりを推進しています。

5 これから

Aさん

地域福祉Co

今後は、Aさんの趣味である「絵」を生かして地域の居場所で「絵画教室」などのイベントを開催できないか、模索中です。

ご本人の特技や長所を生かして、役割を担っていただくことも重要な参加支援のひとつとして推進しています。

地域の場に出向くことが難しい方には、ご本人が手作りした作品を展示する取り組みも行っています。

※地域包括支援センター(通称:包括)…高齢者・総合相談窓口
※民生委員…地域において、住民の相談に応じ、必要な援助を行い、社会福祉の増進に努める人(児童委員を兼ねる)

ボランティアセンターからの報告

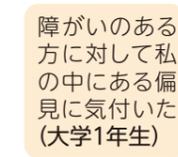
2024夏! 体験ボランティア(夏ボラ)



「夏ボラ」は小学生から大人まで夏の長期休みを通して様々な分野の施設や団体の活動に参加できるボランティアプログラムです。今年度は8月1日～8月31日まで実施し、73か所の施設・団体より90プログラムを提供いただき、小学生からシニアまで累計261名が参加されました。自らの行動と出会いを通して多くの感動や発見が生まれ、新たな繋がりをつくることができました。ご参加くださった皆さま、ご協力くださった施設・団体の皆さまありがとうございました!



積極的に人と関わりたいと思えるようになりました (高校1年生)



障がいのある方に対して私の中にある偏見に気付いた (大学1年生)



活動を通じて他者とのつながりの大切さや社会貢献の意義を実感した。 (中学3年生)

初めて会う話す人であってもこちらから歩みよってみればなにかを返してくれる。 (中学3年生)



受入施設・団体からのコメント

- こちらも見識が広がる良い機会となりました
- どの人の中にもある暖かい気持ちを感じて頂けたかと思えます



災害ボランティア体験 もし大田区で被災したら -被災者から支援者へ-

中学生から70代までの参加者と、災害ボランティア活動経験者が、一緒に学び、体験。発災時や事前に、自分には何ができるのか?共助って? みんなで考えました。

第一部 パネルディスカッション

災害ボランティア活動経験者より、これまでの様々な被災地での経験談や想いを伺いました。

- 参加者の声
- ・生の声を聞いて被災地のリアルを知ることができました。(学生)
 - ・普段は個人でボランティアに参加しているが、チームで参加している方のお話が聞いて良かった。(50代)
 - ・少しでもお手伝いできることがあるかな?と思い参加した。(70代)

第二部 体験

かまどベンチ設置

マンホールトイレ設置

土のう作り

土のう積み

参加者の声

- ・実際に経験して視点が変わりました(学生)
- ・災害があった時に、自分の地域では何ができるのか?と考えるきっかけになりました。(学生)
- ・土のうの積み方、勉強になりました。(60代)

大田区初! 誰でもできるボランティア スタディドライブのご協力ありがとうございました!

6/1~6/30の間、田園調布せせらぎ館にて、新品・未使用の文房具の回収活動が行われました。大田区初のご取り組みでしたが、3080点もの寄附が集まりました。集まった文房具は、こども食堂、学習支援教室、受験生チャレンジ窓口、フードパントリーなどを通して、子どもたちに配布されました。寄附にご協力いただいた地域の皆様、ありがとうございました。

※現在、せせらぎ館ではスタディドライブは行っていません。11/1~11/30にフードドライブの開催を予定しています。



主催者にインタビュー ~実際に活動をしてみて~

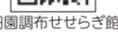
一昨年から、フードドライブを始めて、地域福祉コーディネーターと関わる中で「文房具が必要なご家庭がある」という話を聞き、「地域の子どものために何かできないか」と思い、スタディドライブを始めました。大変なこともありましたが、活動の中で、寄付して下さった方々との新たな出会いもありました。これからも、せせらぎ館が「繋がるきっかけの場」になればと思います。

~地域活動を始めたいひとに一言!~

地域のことを自分事として捉える気持ち「人類皆兄弟!」と思う人に、どんどん活動を広めて欲しいです。【山田さん】

仲間を増やしていくことが大切だと考えています。親切の輪が少しずつ広がっていき、地域の一人ひとりが気持ちよく過ごせると思っています。【黒崎さん】

田園調布せせらぎ館 (田園調布1-53-12) せせらぎ館では、(一社)田園調布グリーンコミュニティの方が地域連携・協働の役割を担っています。



あなたにも できることが きっとみつかる! 大田区のボランティアさん 募集

活動を希望される方は、詳しくは本会ホームページ等で
ご確認いただくか、各施設等へ直接電話等でお問い合わせください。

📅活動日時 📍住所・活動場所 👤募集人数・対象(男女は限定時表記) 🍽️昼食の提供 🚗交通費 🗨️問合せ先 📎担当者

高齢者の方との活動

「デイサービスセンター いずみえん」では、利用者の方が今以上に楽しく過ごして頂くために、お手伝い頂ければ幸いです。利用者の方への傾聴・談話、お茶出し・入浴後のドライヤー掛け、レクリエーション補助等を行って頂きます。

📅毎週月曜日～金曜日 10:30～15:00
(上記内1～2時間程度)

📍矢口3-1-5 福祉施設いずみえん内
東急線 矢口渡駅下車 徒歩5分

👤3名 女性 高校生不可 活動しやすい服装・靴

🚗なし

🗨️デイサービスセンター いずみえん
☎03-3759-5550 📎すがや



「やすらぎの森 にゃおん」は、猫が4匹いる地域密着型デイサービスです。一軒家を改築した施設でゆったりとした空間です。利用者の方との会話やレクリエーションへの参加、食事後の食器洗いや洗濯(利用者と一緒に取り組んで頂く場合有り)等です。

📅毎週月曜日～日曜日 10:00～13:00(相談可)

📍東矢口2-7-6 東急線 矢口渡駅下車 徒歩6分

👤1名 高校生可 動きやすい服装

🚗一律1,000円

🗨️やすらぎの森 にゃおん ☎03-3750-6731

📎ひが



「デイサービス サニーズライフ」は、地域密着型デイサービスです。「暖かく笑顔あふれる サービスを」をモットーに、利用者の方の自主活動と一緒に頂くボランティアを募集しています。

📅日常ボランティア=
毎週月曜日～土曜日 11:00～13:00
お茶出し・会話等

📅活動ボランティア=
単発で13:30～14:30
歌やダンス・太極拳等

📍池上8-2-10 ロイヤルパレス池上1階
東急線 池上駅下車 徒歩5分

👤数名 高校生可 エプロン持参

🚗有(近隣の方希望)

🗨️デイサービス サニーズライフ ☎03-5700-7707

📎はぎわら



「デイサービス ふれあ」は、お風呂のないレクリエーション特化型のデイサービスです。利用者の方との楽しい会話・見守り、移動する際の歩行補助、利用者の方と様々なレクリエーションの鑑賞ができます。

📅毎週月曜日～土曜日 10:00～15:00(応相談)

📍南蒲田3-3-1 こうじや駅前ビル(5階)
京急線 糎谷駅下車 徒歩2分

👤2名 高校生可 動きやすい服装 昼食

🚗実費負担

🗨️デイサービス ふれあ ☎03-3744-2151

📎すずき・さかもと



「ツクイ大田西糎谷」は、365日運営のデイサービスです。レクリエーションや外出、移動パン屋さん等、様々なイベントを実施しています。2～3名の利用者の方と、午後のお茶菓子を楽しみつつ、話し相手になって頂ける方を募集します。

📅11月～令和7年3月 毎日
13:30～16:00(30分～1時間半程度)

📍西糎谷4-9-11 京急線 糎谷駅下車 徒歩5分

👤3名 高校生可

🚗実費負担

🗨️ツクイ大田西糎谷 ☎03-5735-2050

📎いながき



「好日苑デイサービスセンター」では、利用者の方の

- ①お話相手、お茶出し、食器洗い、制作補助等、
- ②麻雀、生け花、手芸、歌、演奏、踊り、体操等の実演・指導・お相手をお願いしています。

初めての人も大歓迎です!

📅毎週月曜日～土曜日

①9:00～16:30(応相談)

②10:30～11:30または13:00～14:30(応相談)

📍上池台5-7-1 JR大森駅・東急線池上駅
バス稲荷坂下車 徒歩2分

👤数名 高校生可 エプロン 上履き 活動しやすい服装

🚗上限500円

🗨️好日苑デイサービスセンター
☎03-3748-6135

📎こせき



障がい児・者との活動

「さわやかワークセンター」は障害者支援施設であり、子ども食堂だんだんと共催でいろいろな話題をおしゃべりしながら、手話を楽しんでいます。障がいのある利用者の方への理解をもって、サークル活動に参加して頂ける方を募集しています。

📅毎月第2火曜日 15:40～16:15

📍西蒲田3-19-4 東急線 蓮沼駅下車 徒歩6分

👤若千名 高校生可

🚗なし

🗨️さわやかワークセンター ☎03-5747-5670

📎しまだ



「大田区立しいのき園」は、主に知的に障害のある方の通所施設です。部品組立、公園清掃、製菓等各種作業やクラブ・自治会活動を行っています。月2回の創作クラブ活動での、その活動内容のご提案及び活動指導・補助をお手伝い頂きます。

📅毎月第1・第3水曜日 13:00～15:00

📍西糎谷2-9-12
JR大森駅東口 京急バス羽田空港(車庫)行
仲糎谷バス停下車 徒歩2分

👤1名 高校生不可 動きやすい服装

🚗なし 講師料を支払います

🗨️大田区立しいのき園 ☎03-5705-0033

📎ごとう



子ども支援

「NPO法人一期JAM いちご食堂」は、打楽器ジャンベを中心に、アフリカ文化の魅力を伝え音楽の素晴らしさを広めています。空き家を有効活用した「いちごハウス」での寺子屋や、ワークショップのボランティアを募集します。

📅寺子屋=毎週日曜日10:00～12:00
子ども学習サポート・悩みアドバイス

📅ワークショップ=毎週日曜日13:30～15:30
講師と参加者のサポート

📍下丸子4-7-8 東急線 下丸子駅下車 徒歩5分

👤5名 高校生可 エプロン持参

🚗実費負担

🗨️いちご食堂 ☎03-6459-8013

📎やまざき



「大森西第二保育園」では、子どもが安全に過ごし十分に遊べるように援助しています。日々の遊びや生活の中で、子どもと関わる楽しさを感じて頂ければと思います。そして、ボランティア活動を通し保育の仕事に興味を持って頂ければ幸いです。

📅毎週月曜日～金曜日9:30～18:15
(内2時間から可能・時間応相談)

📍大森西4-13-11-101 京急線大森町駅下車 徒歩12分
JR蒲田駅・大森駅 東急バス大森西4丁目下車 徒歩2～3分

👤若千名 高校生可 上履き・動きやすい服装・運動靴

🚗なし

🗨️大森西第二保育園 ☎03-3765-4116

📎せきぐち・いそべ



「もっと遊べる五丁目公園の会」は、中央五丁目公園で区内唯一行っている冒険遊び場(プレーパーク)の活動をしています。このこどもの「やってみたい」を応援する遊び場で、子どもたちの遊びの見守りをするボランティアを募集しています。

📅原則毎週水曜日 14:30～17:00

📍中央5-14-1 JR大森駅 東急バス臼田坂下下車 徒歩7分

👤10名 高校生可 🚗なし

🗨️もっと遊べる五丁目公園の会 ☎090-2249-1731

📎こばやし



地域

「にほんごWITH」は、中国、ネパール、ベトナム等様々な国から来た外国人の日本語学習のサポートに、10年以上取り組んできました。大学生、社会人、主婦、退職した方等、日本語ボランティア活動に興味のある方を募集しています。

📅毎週月曜日 19:00～20:30

📍西蒲田3-19-1 ふれあいはずめ
東急線 蓮沼駅・池上駅下車 徒歩10分

👤若千名 高校生不可

🚗定期券でカバーできない部分のみ支給

🗨️にほんごWITH
Email:nihongowith7@gmail.com 📎みやした



ボランティアさん募集の最新情報は、
大田区社協HPでもご覧になれます



\\ ちょっと気になる団体紹介 //

ボランティア スポット



ボランティア「はまどの会」

日本一の高苔生産地の伝統を伝えよう

かつて大森は日本一の高苔生産地でした。「大森 高苔のふるさと館」は、高苔養殖の歴史と伝統を伝える大田区立のミュージアムです。館の前には大森ふるさとの浜辺公園が広がり、とても環境のいい場所です。



ヨシの葉落とし

ボランティア「はまどの会」とは、ここで高苔づくりの技を実際に体験し、自分が学んだことをイベントの参加者に伝えたり技術を教えたりする活動をしています。参加者と同じ目線でお話するので、とても喜ばれています。「はまど」とは、大森の言葉で「海で働く人」のことです。

活動は不定期で、自分が希望する活動に参加できます。高苔や海に関する活動は、イベントの指導や補助、浜辺の高苔生育の作業や当時の高苔づくりの技術の練習などです。また、子ども向けの季節の工作の指導や花壇の手入れなども行っています。

一番人気のイベントは昔ながらの乾高苔を作る「高苔つけ体験」です。また、学校向けの体験授業も行っています。区内の子どもたちには大田区の歴史に誇りに感じて欲しいですし、区外の方々には大田区の魅力を伝えたいと思っています。はまどの会では、研修会を行い、時間をかけて高苔つけの技を身につけています。

はまどの会には社会人からシニアまで、さまざまな年齢層の方々が参加しています。日本一を誇った大森の高苔の文化を体験し、多くの方々に伝統を伝える仲間をお待ちしております。



高苔つけ研修

問合先 大森 高苔のふるさと館

活動場所：平和の森公園 2番2号
電話：03-5471-0333
<https://www.norimuseum.com/>

特技ボランティアさんご紹介

問合せ

おおた地域共生ボランティアセンター

伽耶琴(カヤグム)演奏 金山ゆのさん

愛知県小牧市生まれ。幼少期より韓国のお琴・伽耶琴(カヤグム)を学び、2023年韓国芸術総合学校を卒業し帰国。伽耶琴とは桐製の胴に絹製の弦を張り、膝の上に乗せ指で弦を弾きます。今後は年間250日、主に施設では昭和歌謡、美術館等では李朝白磁と共に宮中音楽、散調など弾いてみたいです。ぜひお声がけくださいませ。



麻雀でボランティア 谷田登さん

最近「健康麻雀」がブームですが、区報を見てこのボランティアの存在を知りました。高齢者ホームやデイサービス等でメンバーが足りない場合、お手伝いに行っています。今では週の半分以上は各所で活動しています。今後、麻雀を覚えてみたいとお考えの方にはご指導させていただきますので、お気軽にお声がけください。



編集後記

今年も多くの方が「夏ボラ」に参加され、職員も現場に足を運ぶ事ができました。参加者からも受入れてくださる方からも笑顔があふれ、皆のキラキラした表情が印象的でした。ボランティアをすることによって感じる事、得られるものは人それぞれですが、それは確実に「宝物」となって自分の中で地域の中で輝きます。12月はセンター初の「おおた広がりボランティアのつどい」を開催いたします。たくさんの宝物を探しに!是非お越しください。お待ちしております! [渡辺(里)]